

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	<u>30</u>

事業所番号	3972100246
法人名	社会福祉法人 香南会
事業所名	グループホーム なごみの里
訪問調査日	平成21年1月29日
評価確定日	平成21年3月31日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	3972100246
法人名	社会福祉法人 香南会
事業所名	グループホーム なごみの里
所在地 (電話番号)	香南市吉川松ヶ瀬990-50 (電話)0887-57-3117

評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成21年1月29日	評価確定日	平成21年3月31日

【情報提供票より】平成21年1月14日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成14年2月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9人
職員数	5人	常勤5(内兼務1)人、非常勤	人、常勤換算5人

(2)建物概要

建物形態	併設 単独	新築 改築
建物構造	RC造り	
	2 階建ての	階 ~ 1 階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	10,000 円	その他の経費(月額)	実費 円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		800 円

(4)利用者の概要(1月29日現在)

利用者人数	9名	男性	1名	女性	8名
要介護1	1名	要介護2	0名		
要介護3	1名	要介護4	6名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢	平均 86歳	最低	81歳	最高	97歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	赤岡医院 ・ 今井歯科 ・ 同仁病院 ・ 愛宕病院
---------	---------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

事業所は住宅街とは少し離れた海の近くの静かな環境の中にあり、総合福祉ゾーンの中に身体障害者療護施設やヘルパーステーション等が併設されている。内部は整理整頓され、清潔感が漂っている。高知大学農学部との交流があり、中庭や畑を利用した園芸療法が利用者意欲を引き出す一助となっているのか、ブロッコリー、カリフラワー、バンジーなどに自主的に水遣りをしている利用者の姿が見られる。利用者9名中要介護4以上が7名、車椅子利用者が6名、食事を自力摂取出来ない人が7名と、重度の利用者が多く、言語療法士や管理栄養士の協力のもと誤嚥の予防にも取り組んでいる。職員に介護上特に大事にしていることを尋ねると、「発話が少なくてもなんとか利用者の思いを汲み取ること、出来る事を活かし出来ない事を支援すること」と、具体的な思いが返ってくる。利用者が重度化しても支援出来る事業所である。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での主な改善課題の内「運営推進会議を活かした取り組み」、「運営に関する家族等意見の反映」等は改善されているが、「地域とのつきあい」、「評価の意義の理解と活用」等改善に向けての取り組みが確認できない項目もある。改善課題の解決に向けては、優先順位を定め、目標、取り組み内容、期間など具体的な計画を立てた上で取り組むことを期待したい。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員間で話し合い、業務終了後2~3日かけて自己評価に取り組んでいる。運営者にも報告している。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は2カ月に1回開催し、事業所から利用者の感染症対策、口腔ケア、嚥下療法、家族から風邪等の感染源にならないように健康管理面での協力、食事風景を見ての感想、市役所から感染予防の徹底など、報告に対する意見交換や質問が出され、1時間半程度の双方向的な会になっている。討議内容を活かした取り組みとしては、事業所の浴槽が広く深さも利用者を入湯させるのが難しい状況であるため、家族から「何とかできないか」と意見があり、併設の施設の協力を得て実施するようにしたことなどがある。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族会や運営推進会議で家族が意見を出しやすい雰囲気づくりを行っている。玄関先に苦情箱も設置しているが苦情としては出されていない。苦情が出た場合、職員会等でその要因を分析し、サービスの質の向上に反映させる仕組みはできている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地区会には加入はしていないが、地区会に出向いて事業所の意義を話したり、夏の清掃活動、地域防災訓練、地区運動会などの行事にも参加している。文化祭の見学などを通して地域と接点を持つ努力もしている。

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとして、独自に作り上げられた理念がある。 「地域第一歩」という理念を作っているが、理念としてはこれだけであり、判りにくい ため現在検討中とのこと。	○	理念は事業所が目指すサービスのあり方や質を確保するための基本となるものである。事業所でも「判りにくい ため現在検討中」ということであるので、全ての職員を交えて十分に検討されることを望む。
2	2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 職員会やミーティング時に話し合い、意識づけをしている。 <input type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面（言葉かけ、態度、記録等）において、理念が反映されている。 地域の人達とのつながりを大切にしていることについては理念を反映していることを評価できるが、現在の理念では、日々のサービスの提供場面に係る内容が盛り込まれていないため、日々のサービスの内容を理念に照らし合わせて確認することができない。	○	管理者、職員共に、日々のサービス提供場面で大切にしている事があるので、それを全員で話し合い理念として明示されることを望む。
2. 地域との支えあい					
3	5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に加入している。 開設当初は「地区会は無いです」と聞いていたとのことだが、その後地区会で事業所の意義等について話をしているのに、所属できる地区会の有無も含め、加入のためのアプローチを行っていない。 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 地区会に出向いて事業所の意義等と話したことがあり、夏の清掃活動、地域防災訓練、地区運動会にも参加し、文化祭の見学等を通じて地域と接点を持つ努力もしている。	○	共に暮らす地域住民の一員として今後も地域で必要とされる活動や役割を担って行くためにも、「地区会」の有無を含む地区へのアプローチを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。</p> <p>職員間で話し合い、業務終了後2～3日かけて自己評価に取り組んでいる。運営者にも報告している。</p> <p><input type="checkbox"/>評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。</p> <p>改善計画シートは提出されているが、優先事項、目標、計画内容等に具体性が無く、改善課題と内容に整合性が取れていないものもある。また、改善検討会を行った記録もない。</p>	○	<p>外部評価の結果は職員会などで話し合い、具体的な計画を作成して改善に向けて取り組むことが必要である。改善に時間を要する項目もあると思われるので、全職員で検討し、優先順位も付け、サービスの質の向上に取り組むことが望まれる。</p>
5	8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。</p> <p>運営推進会議は2カ月に1回開催し、事業所から利用者の感染症対策、口腔ケア、嚥下療法、家族から健康管理面での協力、食事風景を見ての感想、市役所から感染予防の徹底など、報告に対する意見交換や質問が出され、1時間半程度の双方向的な会になっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。</p> <p>前回調査で明らかになった課題について運営推進会議に報告し、改善に向けて取り組んでいる。</p>		
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。</p> <p>市の介護保険課へ出向き空き状況を伝えたり、重度化への対応を話すなど、交流を図っている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。 家族来訪時に利用者の状況を伝え、家族の事情も聴くなど話し合われている。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。 利用者個人の近況報告を添えた事業所便りを送付し、写真も渡している。 <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告している。 <input checked="" type="checkbox"/> 金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。 通帳のコピーを毎月送付し、来所時に確認印をもらっている。		
8	15	家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 家族会を組織し、家族会の時には職員が席を外し、家族同士で話し合える場を設けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 苦情は出てきていないが、苦情が出た場合、職員会等でその要因を分析し、サービスの質の向上に反映させる仕組みはできている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 昨年は12月1日付で管理者を含む5名の異動があり、家族からも意見が出ている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。 引き継ぎ期間は、管理者が交替する時は2週間とり、職員が交替する場合も出来る限り2週間程度とるようにしている。交代後の夜勤は1～2回は2人体制で行うようにし、スムーズに移行できるように配慮している。	○	昨年の異動時には、職員の顔写真を張り出して覚えてもらうように努力しているが、馴染みの関係によるサービスの質を確保する為にも、異動や離職を最小限に抑え、やむを得ない場合でも異動時期をずらすなどの配慮が望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。</p> <p>法人主催の内部研修を毎月開催し、外部研修としては、実践者研修、ケアマネ更新研修、実践リーダー研修、認知症ケア学会などに参加しており、全職員が参加できるように配慮している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。</p> <p>全員出席する職員会で研修結果を報告し、共有している。</p>		
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。</p> <p>全国組織のネットワークには事業所が加入し、県の組織には法人が加入して情報を共有している。</p> <p><input type="checkbox"/>管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。</p> <p>法人内では毎月部会の交流を行っているが、他の事業所とは市主催の会で意見交換をしたことはあるが、事業所間の交流はない。</p>	○	<p>同業者との交流は、サービスの質の向上や、日頃の仕事の悩みの解消などにも役立つので、積極的に取り組むことを期待したい。</p>
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めるとともに、本人、家族等の意向も確認している。</p> <p>本人や家族の状況を確認し、医師や看護師からの情報提供も受けている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。</p> <p>見学をしてもらい、希望があればご飯やおやつなどを一緒に食べてもらうこともある。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者には、複数の職員が面接を行っている。</p> <p>昨年は新入居者がいなかったため面接は実施していないが、管理者を含む職員2名で面接するようにしている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日々の生活場面の中で、支援する側、される側という認識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。</p> <p>食事の時に、味見、ジャガイモの皮むき、台拭きなど出来ることを協力してもらい、洗濯たたみや入浴時の着替えの準備などもしてもらって、協働しながら生活出来るようにしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員は利用者と共に暮らす者同士として、「哀しみ」、「不安」、「喜び」、「楽しみ」などの本人の思いを共感し、理解している。</p> <p>利用者の話に耳を傾け、その時の気持ちや背景を探り、共感し理解するように努めている。言葉の少ない利用者に対しても話し掛け、喜びの表情が出るように努めている。</p>		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。</p> <p>本人や家族から直接聴いたり、生活歴や趣味などの情報から把握するようにしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。</p> <p>家族や関係者からの情報のほか、本人の表情や態度から把握するように努めている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。</p> <p>一部本人の意見や要望の記載の無いものがあつたが、本人や家族からの意見、要望を反映した介護計画になっている。</p> <p><input type="checkbox"/>アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。</p> <p>職員会などで意見交換を行い、カンファレンスも実施している。また、会に参加できなくても気付きを伝え、計画に活かせるようにもしているが、定期的なモニタリングが無く、アセスメントの無い計画書もあつた。</p>	○	<p>短期目標終了時の評価をもってモニタリングとするのではなく、計画の見直しが必要になることも踏まえ期間中の定期的なモニタリングが必要である。また介護計画に大きな変動が無い場合も期間毎のアセスメントが必要である。本人から具体的に聞けなくても、せっかく汲み取っている本人の意向を計画書に記載することも望まれる。</p>

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。 長期は6カ月、短期は3カ月で見直している。 <input checked="" type="checkbox"/> ワンパターンの期間設定ではなく、本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直し、計画内容に応じた個別の期間設定をしている。 利用者の状況に変化が生じた場合は計画を見直し、再作成している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 医療機関と連携して、医療処置を受けながら事業所で生活が継続できるように努めている。 協力医療機関や訪問看護との連携により、医療処置を受けながら生活を継続できるように努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 本人、家族の状況に応じて、通院や送迎、特別な外出、外泊などの支援を行っている。 家族の状況に応じて通院支援を行っている。職員が同伴し、行きつけの理髪店へ散髪にも行っており、自宅訪問なども検討している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。 現在の入居者は協力医療機関で受診しているが、今までのかかりつけ医や希望する医療機関への受診支援も行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができています。 家族受診でも職員同伴の場合でも結果を聞き、申し送り事項シートに記載して情報を共有している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	<input checked="" type="checkbox"/> 終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。 「重度化した場合における対応に関する指針」があり、話し合いを行って対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期が迎えられるように取り組んでいる。 過去に事例はないが本人や家族の意向を踏まえて、取り組んでいくようにしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<input checked="" type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉がけや対応に配慮している。 食事介助や排泄介助時などに、特に気になるような対応は無かった。 <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。 プライバシー保護の指針に基づき対応しており、職員会や法人の研修会でも徹底している。 <input checked="" type="checkbox"/> 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。 職員会や研修会で周知徹底している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりが「その日」にどのように過ごしたいかを把握し、それに応じて柔軟に支援している。 希望等を聞くだけでなく、したいことを言葉で表現出来ない人に対しても表情を読み取り、意向を確認して散歩に出掛けるなどしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。 一日の基本的な流れはあるが、食事、入浴、就寝時間等なるべく個々人に合わせるようにしている。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 利用者が重度化してきたため職員が準備等することが多くなっているが、出来ることはなるべくしてもらうようにして進めている。また、献立についても、利用者の希望を時々取り入れて作成している。 <input type="checkbox"/> 職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。 半数以上の利用者が食事の介助を必要としているため職員は介助に専念する必要もあるが、昨年からの法人の方針により、職員が同じものを一緒に食べていない。	○	利用者の負担を少なくするために食費を低額に設定していること、最近の食材費の高騰により職員の食費を負担することが難しくなっていることなどから、職員は弁当を持参しているが、利用者と職員が同じ食卓を囲み同じ食事をすることの意味を考え、交替制で誰かが一緒に食事をするなど、工夫・検討することが期待される。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
23	57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。</p> <p>毎日入浴できるように支援している。土曜日は環境整備にあてているが希望者がいれば対応している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。</p> <p>入浴を拒否する利用者に対しては、職員を代えたり、時間をおいて説得することで対応できている。拒否があっても3日に1回くらいは入浴できるように支援している。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握し、食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。</p> <p>野菜の植え付け、収穫、食事の味付け、カーテンの留め布の修理など、利用者の役割や楽しみごとを把握し、発揮できる場面を作っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。</p> <p>畑仕事、水遣り、洗濯たたみ、台拭きなどの役割を担ってもらい、役割等を作り出す働きかけを行っている。また、昔話を読んで「私にも本ちょうだい。」と意欲を引き出すきっかけになったりすることもある。</p>		
25	61	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。</p> <p>馴染みの理髪店やこだわりのスーパーなどへなるべく出掛けるようにしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。</p> <p>車椅子利用者が6人いるが、天気の良い日は1～3人が散歩に出掛け、気候のいい時期は毎日庭に出ている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。</p> <p>日常的に散歩は行っており、併設施設に来るパンの訪問販売を楽しみにしている人もいる。春はワゴン車で2～3回ドライブに行き、花見やミカン狩りにも出掛けている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>居室や日中玄関に鍵をかけていない。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。</p> <p>今は外出傾向のある利用者はいないが、習慣や傾向を把握して対応するようにしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。</p> <p>近隣の住民、民生委員、警察、消防などに働きかけ、連絡をしてもらえる関係を築いている。</p>		
27	71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p><input type="checkbox"/>事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的実施している。</p> <p>併設施設との合同で、8月に津波・地震訓練、11月に避難訓練、1月3日にも夜間想定合同火災訓練を実施しているが、地域住民の参加は得られていない。</p> <p><input type="checkbox"/>避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。</p> <p>年に1回消防設備の点検を実施し、非常食はパンの缶詰が24個、非常用セット3個、2リットルの水が12本常備されているが、避難路について、玄関先から何処に避難するか把握ができていない。</p> <p><input type="checkbox"/>その他</p> <p>事業所単独の避難訓練等を実施していない。</p>	○	併設施設との合同訓練を実施しているが、非常時には地域住民の協力が不可欠であるので、民家は100メートルくらい離れているものの協力を依頼できる可能性があるとのことであり、参加協力による訓練の取り組みを期待したい。また、事業所単独での訓練を実施していないため、併設施設や住民の協力が得られない場合の避難訓練等を実施することも期待される。避難路についても安全な場所までの経路を全職員が確実に把握しておくことが望まれる。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。</p> <p>食事量や水分量は把握している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。</p> <p>献立は栄養士が作成しているが、時折、献立を変更して利用者の好みの食事を提供している。調理方法を利用者の好む方法に変更することもある。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。</p> <p>栄養士が献立を作成している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。</p> <p>車椅子利用者が多いため、観葉植物やソファーを使いやすい配置している。また、畳の間も設け炬燵でくつろげるようにしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気壊していない。</p> <p>飾り付けとしては多くないが、家庭的な雰囲気壊してはいない。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。</p> <p>クリスマスや正月飾りなどの季節の飾り付けを行い、季節感等に配慮している。</p>		
30	83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫している。</p> <p>鏡台、籐の椅子、ぬいぐるみ、写真、色紙など、個別に工夫している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組んでいる。</p> <p>少し生活物品が少ないと感じる居室については、自宅訪問を行い、馴染みの物を持ち込むなどして対応している。</p>		